

〈概要版〉

# 令和6年度 社会教育を 推進するために

～人がつながる地域づくり～

## 【目指す人間像】

めまぐるしく変化していく社会において、  
変化を前向きにとらえて主体的に行動し、  
よりよい社会と幸福な人生を創り出せる人

京都府社会教育・生涯学習・  
公民館等指導者研修会



家庭教育支援チーム



地域学校協働活動



京都府人権教育指導者研修会



第12回子ども読書本のしおりコンテスト  
最優秀作品



京都府教育委員会では、第2期京都府教育振興プランをもとに、京都府の社会教育の方向性をまとめ、目標や具体的対応などを社会教育関係者や学校教育関係者に示すものとして「社会教育を推進するために」を策定しました。

令和6年度「社会教育を推進するために」  
の詳細はこちらの二次元コードから→



# 生涯学習社会の実現に向けた京都府の社会教育

人生100年時代。  
若者から高齢者まで、全ての人に活躍の場があり、  
すべての人が元気に活躍し、安心して暮らすことのできる  
社会をつくる必要があります。  
特に社会的な課題の解決に向けては

## 「生涯学習・社会教育」

の重要性が再認識されています。

京都府では  
「第2期京都府教育振興プラン」において  
「目指す人間像」を掲げ、  
子どもから大人まですべての人々が  
生涯にわたって力強く歩み続け、  
高い志をもって、  
よりよい社会と幸福な人生の創り手となる



## 「人づくり」を進めています。

<第2期京都府教育振興プラン>

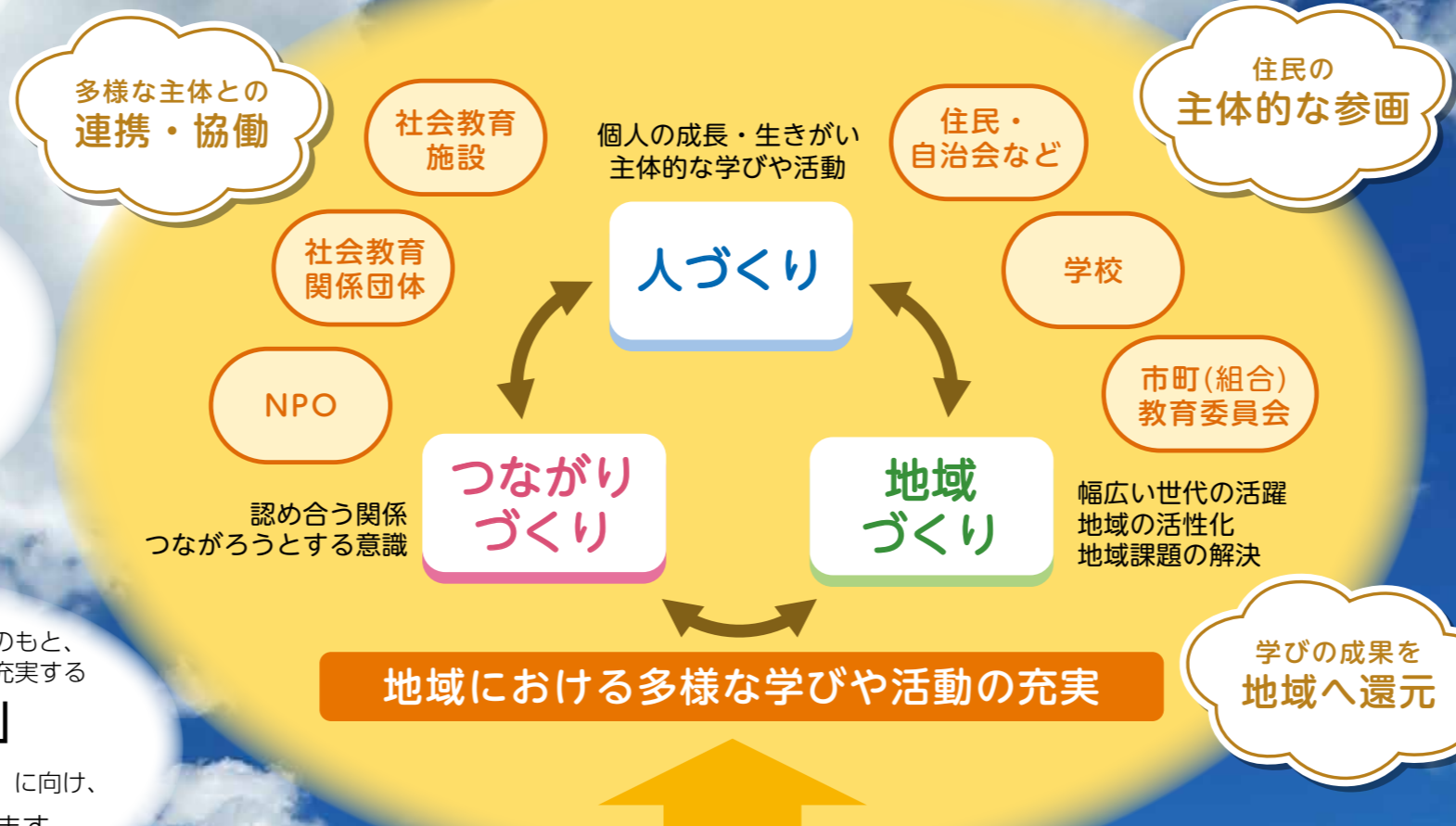
学校と地域が連携し、住民の主体的な参画のもと、  
人がつながり、学びや活動の場が充実する

## 「人がつながる地域づくり」 「生涯学習社会の実現」

に向け、  
京都府の社会教育を推進します。



<社会教育課HP（府内の社会教育活動の実践事例等を紹介）>



社会教育課HPには、各種リーフレット等を  
掲載しています。ご活用ください。

「地域学校協働活動」「特別講師派遣事業」  
「家庭教育資料」「ネット・SNSトラブル防止」  
「薬物乱用防止」「視覚障ライブラリー」  
「地域交響プロジェクト（協働教育）」



## 京都府の社会教育推進の4つの柱



←4つの柱の詳細に  
ついてはこちら

### 生涯学習の振興

#### ●目標

府民が生涯にわたる学習活動を主体的に  
行い、その成果を適切に活かすことができ  
る学習環境づくりを推進する。

#### ●目標へのアプローチ

1. 府民の多様なニーズに応える学習機会の提供
2. 府民の生涯学習の成果が活かされる場や機会の充実
3. 誰一人として取り残さない学びの環境の充実
4. 現代的・社会的な課題に関する学習活動を担う社会教育関係者等の資質向上
5. 社会教育施設の機能の充実と活用の促進



R6重点

### 家庭の教育力の向上

#### ●目標

すべての保護者が安心して子どもの教育  
や子育てに関わることができるよう、家庭  
を支える体制づくりを推進する。

#### ●目標へのアプローチ

1. 幼児期からの切れ目ない保護者支援の充実と、学校・地域及び関係諸機関・団体等の連携・協働によるネットワーク体制の構築
2. 保護者に対する学習・交流の機会や情報の提供
3. 家庭・学校・地域が連携した読書活動の推進
4. 次代を担う子どもたちが家族や子育て、ライフデザインを学ぶ機会の創出



R6重点

### 地域社会の教育力の向上

#### ●目標

地域社会全体で子どもの学びや育ちを支  
える環境づくりを推進する。

#### ●目標へのアプローチ

1. 地域・家庭・学校の連携・協働により子どもをはぐくむ取組の充実
2. 住民の参画やつながりを生み出すコーディネーターなどの人材育成の推進
3. 地域における多様な学習・体験活動の充実

\*「地域学校協働活動」について、詳しくは裏面へ



R6重点

### 人権教育の推進

#### ●目標

一人一人の尊厳を大切にするための人権  
意識の高揚に向けた、生涯のあらゆる機会  
や場を通じた人権教育を推進する。

#### ●目標へのアプローチ

1. 社会教育関係職員等の人権意識の高揚
2. 各種団体等における人権学習の充実に向けた教材の整備
3. 社会全体で子どもの人権を守るための取組の推進



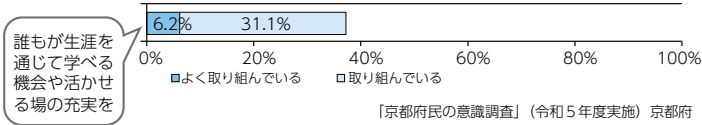
R6重点

未来の社会を担う子どもたちを地域社会全体ではぐくむ **子どもへの支援の充実**

# 京都府の“今”

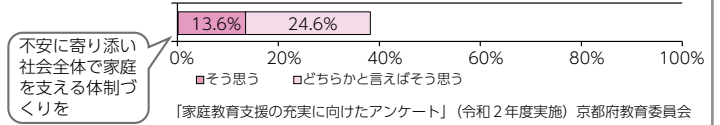
## 生涯学習の振興

●キャリアアップや趣味に関する生涯学習等に取り組んでいる人の割合



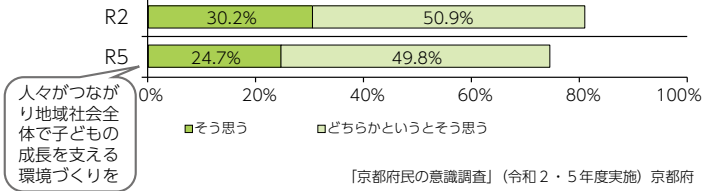
## 家庭の教育力の向上

●子育てに自信がないと感じる保護者の割合



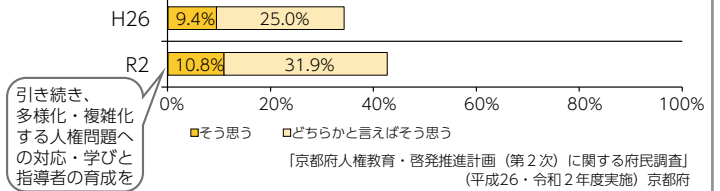
## 地域社会の教育力の向上

●住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う人の割合



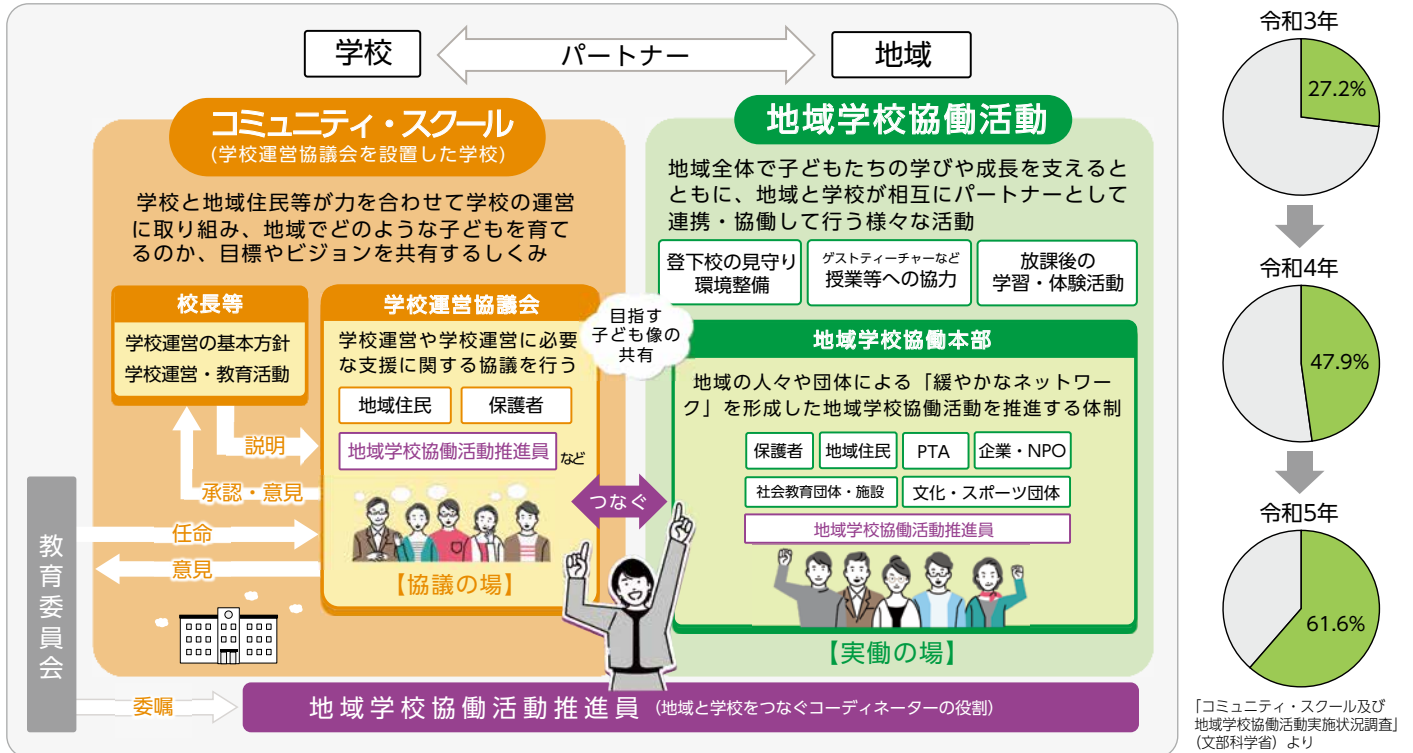
## 人権教育の推進

●府民一人ひとりの人権意識は、10年前と比べて高くなっている？



## 地域社会全体で子どもたちの学びを支援するために コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の両方が整備されている府内小・中・義務教育学校の割合が増えています。



社会総がかりでの教育の実現を図る上で、地域においてどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを学校と共有し、より多くの地域住民等が子どもたちの成長を支える活動に参画するための基盤を整備していくことが大切です。

また、協議の場である学校運営協議会と実働の場である地域学校協働活動を「地域学校協働活動推進員」が円滑につなぐことで、両者の機能を高め、地域と学校のさらなる連携・協働が推進されるなどの相乗効果が生まれます。

全国の取組事例 (文部科学省)



## 地域学校協働活動の事例

地域と学校が協働して創る、子どもたちを心豊かで健やかに育てる環境づくり  
～「地域を誇れる子ども」  
「自分の学校を誇れる子ども」の育成を目指して～



京田辺市立普賢寺小学校  
なのはな委員会

地域みんなで美山の子どもの未来を考える  
～「地域とともにある学校づくり」を通して～



美山地域学校協働本部  
南丹市立美山小学校  
南丹市立美山中学校